

11月6日(水) 本年度第18回(通算2704回)

財団月間によせて

担当/財団委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

■出席報告【会員総数66名 免除7名 出席計算に用いた会員数66名】

出席者 34名 本日の出席率 52%

■ニコニコ献金

- ・小野寺 英夫君…本日、社用により欠席します。申し訳ありません。石井副会長、中嶋理事、新妻副委員長よろしく申し上げます
- ・佐渡 正幸君…11/17(日)14時より釧路強じん化フォーラムを開催しますので、ご来場お待ちしております
- ・大澤 恵介君…新入会員の大澤です。本日所用により欠席します。申し訳ありません。誕生日記念のケーキ楽しみです
- ・石井 東洋彦君…新妻さん、技能功労賞おめでとうございます
- ・村井 順一君…誕生ケーキありがとうございました
- ・中嶋 嘉昭君…石井副会長の挨拶が聞けて嬉しいです

■会長挨拶 《石井副会長》



今日のプログラムの財団月間については中嶋理事、新妻副委員長におまかせして、自分が今、地域のおじさんとして子ども達に関わっている中で感じていることを一つお話させて頂く。

新しくなった中央小学校の一角で今、児童センターの建設工事が行われている。2月には中央小の子どもたちが名付け親となって「とんけし児童センター」がオープンする予定で、運営協力を立ち上げるための準備委員会が月1回程度開かれている。

協力金をどうするかという段階(ほとんどの児童センターで集めている。一戸当たり年50円程度が多い)。中央小校区には町内会を束ねる地区連町が三つあるのだが、そのいずれから「一戸ずつ集めるのは難しい。かと言って、町内会からとなると、うちの町内会には子どもはいない。子どもがいなくても町内会から払わなければならないのか、という話が出るのは間違いない」。

橋北地区は、どこの地区連町でも、子どもがいなくても町内会は半数近くあるのが現状。

「地域が子どもを育てる」という言葉がうまく伝わらない環境になっているのかなあ。

「みんな地域のおじさん、おばさんに育てられて大人になったんじゃないの?」なんて思うのは、我々が最後の年代なのかもしれない。

だからこそ、青少年育成を奉仕プロジェクトに位置づけるロータリー、坂本新世代基金で青少年を力づける北クラブに、もう少しいさせてもらおうかな?

■幹事報告 《佐渡幹事》



・釧路北RACの11月例会は、19時30分から交流プラザさいわいにて行いますので、お間違いのないようお願いいたします。

・釧路ベイRC、釧路南RC、釧路東RC、釧路西RCより11月の例会プログラム及び釧路西RCより10月の例会報告書が届いておりますので、回覧いたします。

・The Rotarian 11月号が届いておりますので、回覧いたします。

・11月13日の職場訪問例会は、旧東栄小学校内の「こぶし作業所」にて行いますので、お間違いのないようお願いいたします。なお、駐車場も用意しております。

財団月間によせて



財団・米山部門 中嶋理事

1917年、「世界に良いことをする為に」の思いで、基金の設置、1928年「ロータリー財団」と名づけられ、正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」と言いますが、ロータリー財団 (TRF) と国際ロータリー (RI) は全く別組織であります。

詳しくは、この後、新妻副委員長よりパワーポイントでの説明をお聞きいただきますが、ロータリー財団地域コーディネーター補佐委員としての、足立PDGからのヒントや情報が入っている事をお伝えしておきます。

財団への寄附について、北山委員長よりのお願いとして申し上げます。会員皆様から、毎年会費負担金の寄附特別会計として、ロータリー財団寄付金、また米山記念奨学会寄附金を戴いております、ありがとう御座います。ロータリー財団認証ポイントを利用したのポールハリス・フェロー (PHF)、マルチポールハリス・フェロー (MPHF) の称号を得てください。

米山功労者へのご理解と、ポリオ・プラスへの献金協力をお願い致します。

ロータリー財団は、何故必要なのか？

それは世界のたくさんの助けを求める人々がいるからではないでしょうか。

寄附をするという事は、世界中の奉仕活動に参加しているという事です。ロータリアン一人ひとりからの寄附は、世界中で有効に使われています。

ロータリー財団は、全ての寄付を奉仕活動に使っています。そして、貴重な寄附を使って、色々なプロジェクトを実行していくのは、皆さんロータリアンであり、ロータリークラブです。「寄附する」だけでなく、有意義なプロジェクトを考えていただき、「有効に使う」ことも考えてみてはどうでしょうか。



財団委員会 新妻副委員長





ロータリー財団

2013年11月6日
釧路北ロータリークラブ
財団委員長
北山幸徳



ロン・D・パート
ンRI会長のメッ
セージ

ロータリーは今、その歴史に残る変革の時期を迎えています。ポリオ撲滅がまた一歩実現に近づき、ロータリー史の一章が幕を閉じようとしているのと同時に、未来の夢の全面導入は、新たな一章の幕開けを告げるものです。

ロータリーの新しい補助金モデルは、ロータリーの強みをさらに高いレベルへと引き上げるものです。ロータリアンが最も効果的な方法で人々を支援すると同時に、奉仕の方法を柔軟に選ぶことができます。従来の奉仕の方法から大きく転換するため、すべてのロータリアンが変化の内容を理解し、その恩恵を受け、ロータリー財団のリソースを最大限に活用できるよう支援することが、皆さまロータリー・リーダーの責務の一つとなります。

ロータリーの奉仕を真の意味で前進させるためには、すべてのロータリアンに有意義な役割を担っていただき、すべての寄付が重視されなければなりません。

私が、2013-14年度のRIのテーマを「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」としたのは、そのためです。

クラブがいかに多くを達成できるか、すなわち、何人のロータリアンの意欲をかきたて、その結果、ロータリアンが何人の人生を変えられるかは、皆さまの熱意と献身、そして新しい考え方への寛容さにかかっています。より明るいロータリーの未来のために、共に邁進いたしましょう。（「Rotary Leader」July 2013 より）

■【格付け機関がロータリー財団に最高評価】

今年ロータリー財団は、**チャリティーナビゲーター**(チャリティーナビゲーターは、米国の非営利団体の独立系格付け機関として最も信頼されている組織です。)から**四つ星最高評価**を得ました。

☆毎年、数千もの非営利団体が、チャリティーナビゲーターによって評価されますが、四つ星評価を受けられるのは、そのうちわずか4分の1。これによりロータリー財団は、財務管理能力と説明責任、および透明性が高く評価されました。

ロータリー財団はこれで、**6年連続で最高評価**を受けたこととなります。これは、米国の慈善団体のわずか**3パーセント**が誇ることのできる名誉です。チャリティーナビゲーターのCEO:ケン・バーガー氏は、ロータリー財団への書簡の中で次のように述べています「ロータリー財団が受けた『EXCEPTIONAL』'最優秀(という評価は、貴財団が、ほかの慈善団体よりも大きく秀で、人びとの信頼を裏切らない団体であることを示しています)」。

■ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門で、ロータリアンと支援者による自発的な寄付のみに支えられています。

財団の補助金を通じて、ロータリアンは、人々の健康状態の改善、教育支援、貧困救済(人道的支援)に努め、世界理解、親善、平和を促進する活動を行うことができます。

クラブ・ロータリー財団委員会の役割は、補助金プロジェクトへの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し、実施することです。

☆財団委員会の責務。

- ・ 次年度のクラブ財団目標を達成するために**委員会の目標**を立てる。
- ・ 財団に関して**会員の教育**を行う。
- ・ 財団補助金プロジェクトや**活動への参加**を呼びかけ、促進する。
- ・ クラブと会員がロータリー**財団へ寄付**を行うように働きかける。
- ・ クラブがロータリー財団の補助金を申請するための資格を満たし、「クラブの覚書(MOU)」に概説されている補助金の資金管理のシステムを設けていることを確認する。
- ・ 財団に焦点を当てた**例会プログラム**を少なくとも年に**4回実施**する。

■**財団セミナー**: 地区ロータリー財団セミナーへ出席し、財団とその活動への参加方法について学ぶよう、会員に働きかけ、また、クラブ・ロータリー財団委員会がクラブの財団セミナーを開催することもできます。議題とするに相応しい内容は以下のようなものです。

- ・ロータリー財団の概要
- ・クラブと地区のロータリー財団委員会の役割
- ・ポリオ・プラスについて
- ・ロータリー財団の補助金について
- ・資金管理と参加資格認定
- ・財団の資金の仕組みを理解
- ・募金活動について
- ・ロータリー平和センターについて

ロータリー財団の認証の機会

■個人に対する認証

- 「財団の友」会員
- ポール・ハリス・フェロー
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- メモリアル・ポール・ハリス・フェロー認証状
- 感謝状(企業に対して贈ることが可能)
- ベネファクター
- 遺贈友の会
- 大口寄付者
- アーチ C. クランフ・ソサエティ

■クラブに対する認証

- 100%「財団の友」会員のクラブのバナー(毎年)
- 「毎年あなたも100ドルを」バナー(毎年)
- 年次基金1人当たり寄付額の上位3クラブ認証バナー(地区ごと、毎年)
- 100%ポール・ハリス・フェロー・クラブのバナー(要請に応じて)

- ①「財団の友」会員
- ②ポール・ハリス・フェロー
- ③マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- ④メモリアル・ポール・ハリス・フェロー認証状
- ⑤感謝状(企業に対して贈ることが可能)
- ⑥ベネファクター
- ⑦遺贈友の会
- ⑧大口寄付者
- ⑨アーチ C. クランフ・ソサエティ

■アーチC. クランフ・ソサエティとは・・・

250,000米ドル以上の寄付を行った寄付者は、アーチ C. クランフ・ソサエティのメンバーとなります。エバンストンのRI世界本部のアーチC. クランフ・ギャラリーに肖像写真が飾られ、タッチスクリーン案内板に略歴とビデオクリップが紹介されます。また、このタッチスクリーン案内板は、ロータリーの国際イベントでも展示されます。寄付者には、特別な襟ピンと認証状が授与され、ソサエティメンバーのための特別行事に招待されます。

また、新メンバーは世界本部で行われる特別な入会式に招待されます。

管理委員会サークル:250,000～499,999.99米ドル

管理委員長サークル:500,000～999,999.99米ドル

財団サークル:1,000,000米ドル以上

Japan Day (2013年4月19日)



■ロータリー平和センター

9月から国際基督教大学・ICU(で平和についての研究する、ロータリー平和フェロー第12期生が来日しました。

名前	出身	研究テーマ
1. Claire Chou Doran	アメリカ	文化的要因が調停手続きの決定に及ぼす影響
2. Amardeep Kaur Kainth	イギリス	若者による紛争地域・紛争後地域における平和構築と意思決定への関わり
3. Christopher Cade Mosley	アメリカ	福島原発事故におけるガバナンスの課題
4. Dimitra Messini	ギリシャ	ギリシャ金融危機と外国人排斥の増加
5. Luca Sartorelli	イタリア	新しいアフリカの国、南スーダン均衡と見
6. Nixon Nembaware	ジンバブエ	通し 男女平等な社会への探求:植民地支配後のジンバブエで暴力を受けて行われた介入に関する考察
7. Sana Saeed	アメリカ	若者の起業家精神をのばす若者育成フレームワーク:パキスタン、インド、ネパールからのケーススタディ
8. Michelle Aldridge	アメリカ	若者の会話、アート、交流を通じた癒し
9. Cilia Maria Ruiz-Paz	アメリカ	の思い出に関するケーススタディ 環境紛争-国際執行とコンプライアンス の優先順位の競合環境

2013年10月1日現在の世界のポリオ発生数は下記のとおりです。

()内は昨年同時期の発生数。

ナイジェリア 49(93)

パキスタン39(43)

エチオピア 4(0)

アフガニスタン 6(21)

ソマリア 170(0)

サウススーダン 3(0)

ケニヤ 14(0)

チャド 0(5)

計 285(162)

[流行国 94(157)、非流行国191(5)]

パキスタン、アフガニスタンなどで、ワクチン株由来のポリオ(2型)が43例発生しています。

上記の発生数は野生株による発生数で、ワクチン株由来ポリオ発生数は含まれていません。

■新しい補助金構成：

簡素化を目的とした新しい補助金構成の下では、補助金の種類は

- ①地区補助金*、②グローバル補助金、
③パッケージ・グラントの3種類となります。

クラブと地区は、これらの補助金を活用して、国内外で幅広い人道的および教育的プロジェクトを実施します。

■地区補助金*：財団の使命に沿った、クラブまたは地区の奉仕活動に活用できる補助金です。クラブや地区は、国内外の差し迫ったニーズに応えるプロジェクトを実施します。補助金を管理するのは地区の役割です。クラブから地区に提出されるプロジェクトの申請を基に、承認するプロジェクトならびに地区として財団に申請する額を決定します。

地区は、年に1度、一括で地区補助金を受領し、それを地区内のクラブに配分します。地区補助金には、以下のような特徴があります。

- ・ 財団の使命に沿っている
- ・ 地区が補助金を管理し、クラブに支給
- ・ 小規模なプロジェクト(国内または国外を問わず)
- ・ 短期の1度のみのプロジェクト

■グローバル補助金

グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。補助金プロジェクトのスポンサー(提唱者)は、国際的なパートナーシップを組み、各地の地域社会のニーズに取り組みます。

グローバル補助金は、次のような活動に使用できます。

- ①人道的プロジェクト
- ②奨学金：大学院レベルの留学
- ③職業研修チーム(VTT)：専門職業に関する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣

補助金の使用条件

グローバル補助金の利用にあたっては、活動が実施される国のクラブまたは地区と、それ以外の国のクラブまたは地区がパートナーとなって協力することが求められます。また双方のクラブ/地区は、補助金を申請する前に、参加資格の認定を受けている必要があります。

■その他の要件：

- ①持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後も活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- ②測定可能な目標を持っていること
- ③6つの重点分野のいずれかに該当すること
- ④地域社会のニーズに応えること
- ⑤ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- ⑥補助金の「授与と受領の条件」に記載された要件を順守すること

グローバル補助金は、年度を通じて随時申請することができ、申請が受理された順に審査が行われます。支給額と支給方法

予算30,000ドル以上の活動が対象となります。そのうち、補助金で賄われる額は最低15,000ドルです(最高支給額は200,000ドル)。この補助金は、クラブ/地区からのDDF(地区財団活動資金)に対して100%(同額)、現金寄付に対して50%(半額)の割合で、財団からWF(国際財団活動資金)の上乗せが提供される仕組みです。

■パッケージ・グラント

パッケージ・グラントは、ロータリーと戦略パートナーがあらかじめ大わくを設定したプロジェクトに、クラブや地区が参加するタイプの補助金です。

■パッケージ・グラントによる活動

グローバル補助金と同様、パッケージ・グラントもロータリーの重点分野に該当する活動(人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム)に充てられます。ただし、パッケージ・グラントではプロジェクトの枠組みがあらかじめ定められており、この点がグローバル補助金とは異なります。

ロータリーは現在、次の3団体と戦略パートナーの提携を結び、クラブや地区が参加できる活動オプションを提供しています。

- ①アガ・カーン大学(看護学における奨学金、保健教育者への研修)
- ②ユネスコ水教育研究所(水と衛生分野の奨学金)
- ③マーシーシッピング(職業研修チーム、医療奉仕)

■活動の特徴

パッケージ・グラントでは、ロータリアンが独自の才能とエネルギーを生かして、プロジェクトの実施にあたります。ロータリアンの役割は、以下のようなものです。

- ①地域社会のニーズ調査、プロジェクトによる恩恵の特定
- ②奨学生の選考と援助
- ③職業研修を受ける専門職業人チームの募集と編成
- ④専門能力の提供や奉仕活動への参加
- ⑤プロジェクトの推進と広報
- ⑥プロジェクトのモニタリングと評価

パッケージ・グラントは、年度を通じて随時申請でき、申請が受理された順に審査が行われます。地区とクラブが、パッケージ・グラントを申請する前に、参加資格の認定を受ける必要があります。

支給額と支給方法

パッケージ・グラントは、全額がロータリー財団と戦略パートナーから提供されます。

【年次基金寄付0クラブ】

2012-13年度の日本の年次基金寄付0クラブは57(暫定)でした。例年100クラブを超えていたもので半減しています。また第2ゾーンは年次基金寄付0クラブがなくなりました。皆様の大きなご支援と協力に感謝いたします。すべてのクラブがロータリー財団を支える大切な年次基金への寄付をしていただけますよう、今年度も引き続きご協力お願いいたします。

2012-13年度 年次基金寄付0クラブ

第1ゾーン		第2ゾーン		第3ゾーン	
地区	クラブ	地区	クラブ	地区	クラブ
2500	10	2580	0	2640	6
2510	1	2590	0	2650	0
2520	19	2600	0	2660	0
2530	3	2610	0	2670	0
2540	5	2620	0	2680	0
2550	0	2630	0	2690	0
2560	1	2750	0	2700	1
2570	0	2760	0	2710	0
2770	0	2780	0	2720	4
2790	7	2730	0		
2800	0	2740	0		
2820	0				
2830	0				
2840	0				
計	46	計	0	計	11
日本合計			57		

【2012-13年度 ポリオ・プラスへのDDF 寄贈額】

2013年6月30日現在

地区	寄贈額	地区	寄贈額	地区	寄贈額
2500	10,000.00	2590	100,000.00	2730	60,000.00
2510	20,000.00	2600	49,500.00	2740	10,000.00
2520	5,000.00	2610	16,223.98	2750	10,000.00
2530	24,391.80	2620	220,000.00	2760	20,000.00
2550	20,000.00	2650	200,000.00	2780	66,000.00
2560	30,000.00	2660	40,000.00	2800	30,000.00
2570	100,000.00	2680	15,000.00	2830	5,000.00
2580	85,000.00	2690	50,000.00	合計	1,186,115.78

Q. 日本は一人あたりの寄付額は世界6位(2011-12年度)と聞きました。これは、ロータリアン一人あたりの年次基金のことでしょうか？

A. 寄付総額ではアメリカについて2位ですが、一人あたりの寄付総額では日本は6位でした。

2011-12年度の国別の一人あたりの寄付総額は、1位 香港(575ドル)、2位 台湾(312ドル)、3位 ナイジェリア(303ドル)、4位 カナダ(296ドル)、5位 アメリカ(212ドル)、6位 日本(203ドル)、7位 オーストラリア(188ドル)、9位 韓国(186ドル)、10位 マレーシア(179ドル)。

Q. 新しい地区補助金を使った奨学金は、外部(地域社会)に向けての公募になりますが、「ロータリー奨学金」とした場合、地域の方は奉仕団体から提供されると考え、「ロータリー財団奨学金」とした場合、奉仕団体というよりは寄付団体からの提供と捉えるようです。「ロータリー平和フェロシップ」はロータリーの冠がついていますが、未来の夢における奨学金の名称についての見解をお願いします。

A. グローバル補助金の奨学生は「ロータリー奨学生」と呼ぶことが管理委員会で決まりました。地区補助金の奨学生の呼称は各地区で決めることとなりますが、地区の奨学生ということが明確になるよう、「ロータリー第1234地区奨学生」という呼称を推奨しています。

Q. 補助金を受領する地区や各クラブの口座名の推奨を教えてください。

A. 補助金口座だと明確にわかるように、例えば、「第1234地区DG123456 会計 国際太郎」「第1234地区 地区補助金財団委員長 国際太郎」「第1234地区GG123456 会計 国際太郎」「〇〇ロータリークラブGG123456 会長 国際太郎」とします。

日本から振込む関係で、申請書に口座名を入力する際は、日本語とローマ字併記でお願い致します。(80文字以内)

(例) Dai1234chiku DG123456 Kaikei Kokusai Taro
第1234地区DG123456会計国際太郎

Q. 2013-14年度地区補助金の状況を教えてください。

A. 7月23日現在、日本34地区のうち27地区が承認されており、9地区は既に資金を受領しています。この27地区の受領金額の平均は約10万ドルで、個別プロジェクト数は多い地区では70件以上、少ない地区は10件以下となっています。

内容は、奨学金を含め教育関係や東日本震災、環境汚染への取り組み、高齢者への支援が多くみられます。海外でのプロジェクトを計画している地区も多いです。一番多いのがやはり奨学金で金額は本当に様々です。1万ドルのところもあれば、2万7千ドル(国際親善奨学金と同レベル)の地区もあります。

奨学金以外では、フィリピン、タイなどアジアでの水や学校支援(教材寄贈など)プロジェクトがありました。金額は2、3千ドルの場合が多いようです。

Q. 寄付金の貢献、使途をもっと具体的に明示し、多くの方が賛同して寄付が出来るようにするための施策を考えてますか？

A. 新補助金制度では地区で推進した資金が極めて明瞭にDDFとして、またグローバル補助金に組み合わされる国際財団資金(WF)となり、自分たちが計画したプロジェクトに使われます。

更に、

- (a) 6つの重点分野に特定して寄付ができます。
- (b) プロジェクトはロータリーショーケースをはじめ、様々なメディアによって確認ができます。
- (c) 地区は毎年DDFの使途を会員に公開しなければなりません。

2013-14年度 ゾーン・チーム 及び 恒久基金/大口寄付アドバイザー

2013-14年度ゾーン・チームは下記の通りです。

Zone 役職 氏名 地区 担当地区 Email

Zone 1

RRFC	岩渕 均	2770	2570, 2770	
	seizanso@viola.ocn.ne.jp			
ARRFC	足立 功一	2500	2500, 2510, 2830	
	k.a.doc@sage.ocn.ne.jp			
ARRFC	羽石 光臣	2550	2520, 2540, 2550	
	yunan@rolan-u.co.jp			
ARRFC	北村 仁	2820	2530, 2790, 2820	
	khitoshi@mve.biglobe.ne.jp			
ARRFC	横山 公一	2840	2560, 2800, 2840	
	yokoyama_koichi@dsnumata.co.jp			
EPNC	白鳥 政孝	2790	Zone 1	
	siratori@io.ocn.ne.jp			
E/MGA	田中 徳尚	2770	Zone 1	
	tokunao.tanaka@gmail.com			

Zone	役職	氏名	地区	担当地区
Zone 2	RRFC	江崎 柳節	2760	Zone 2
	ARRFC	坪 昭二	2750	2610, 2590, 2750
	ARRFC	田嶋 好博	2760	2600, 2760, 2630
	ARRFC	後藤 定毅	2780	2620, 2780, 2580
	EPNC	藤林 豊明	2590	Zone 2
	E/MGA	竹腰 兼寿	2630	Zone 2
Zone 3	RRFC	松本 茂太郎	2710	Zone 3
	ARRFC	河本 英典	2650	2640, 2650, 2660, 2680
	ARRFC	諏訪 昭登	2710	2670, 2690, 2710
	ARRFC	木下 光一	2720	2700, 2720, 2730, 2740
	EPNC	延原 正	2690	Zone 3
	E/MGA	鳥居 滋	2690	Zone 3
財団管理委員		小沢 一彦	2780	

ご清聴ありがとうございました

